

「亀山学」出版

朴 惠淑センター長編著 / 平成28年3月20日

● 亀山市総合環境研究センターは、平成17年1月に設立された機関で、亀山市の環境・文化・健康を縦横につなげる「亀山学」を構築し運営しています。センター設立10周年を記念して地域学としての「亀山学」を平成28年3月20日に第1刷発刊いたしました。

朴惠淑センター長編著による、第1章から第8章の240ページからなる、いまなぜ「亀山学」が必要なのかが分かりやすく書かれています。著者は、櫻井義之市長をはじめ、朴惠淑センター長、センター研究員の方々等、多彩であり、亀山の過去、現在、未来を知って学べる内容となっております。

いまなぜ「亀山学」なのか / 「はじめに」から (朴 惠淑著)

「亀山学」は亀山市の過去を知り、現在を理解し、未来を創る有効なツールとなる地域学です。「亀山学」を通じて、身近な地域について考え、行動することで人々の輪が日本全国や世界へ広がり、地球市民としての自覚とノウハウが地域へフィードバックでき、持続可能な亀山づくりに貢献できることを期待しています。「亀山学」は、次の三つの基本理念に基づく、人づくり、地域づくり、未来づくりの理論的根拠及び実践的手段となります。

(1) 持続可能な開発のための教育 (ESD) 実践による人づくり

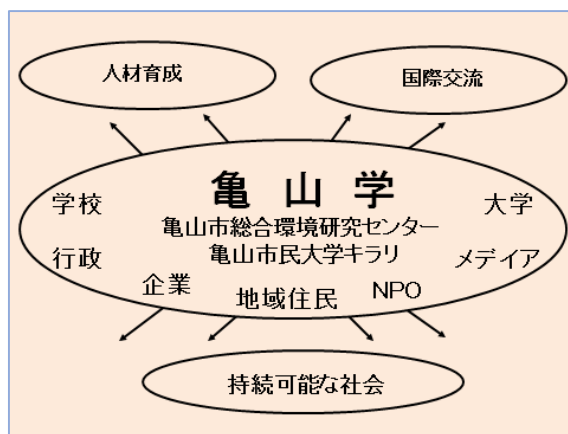
学校教育及び生涯教育における持続可能な開発のための教育 (ESD) による人づくりをおこないます。ユネスコスクール活動の活性化によって、環境教育、エネルギー教育、防災教育、生物多様性教育、気候変動 (地球温暖化防止) 教育、国際理解教育、文化遺産教育、その他 (平和教育、人権教育など) を積極的におこない、地球規模で考え、地域で行動できる、グローバル人材を育成します。

(2) 成熟した市民ガバナンスによる地域づくり

成熟した市民ガバナンスによって、豊かな自然を守りながら経済との調和が図られる持続可能な社会、伝統文化が守られ、幸せを感じられる地域づくりをおこないます。

(3) 認識共同体による協働型未来づくり

産官学民のステークホルダーとの認識共同体による協働型未来づくりをおこないます。市民・行政・事業者の三位一体の協働システムによって、地域に根ざし、世界へ通用する亀山らしい未来づくりを目指します



「亀山学」目次

はじめに……………いまなぜ「亀山学」なのか 朴 恵淑

第1章……………「亀山学」のススメ 櫻井義之

第2章……………亀山の歴史・産業
交通と産業の発展からみた亀山の歴史 香川雄一
「世界の亀山モデル」の液晶テレビ工場 シャープ株式会社亀山工場

第3章……………亀山の自然環境
亀山の地形・水文・気候環境 谷口智雅・宮岡邦任・朴 恵淑
亀山の自然環境を守る産官学民の連携 松村直人・朴 恵淑

第4章……………亀山の生活環境
亀山のエネルギー環境・廃棄物対策 山村直紀
亀山の生活環境をつくるオール亀山ポイント（AKP） 山村直紀・朴 恵淑

第5章……………亀山の文化・幸福度
亀山（関宿）の文化・持続可能な福祉のまちづくり 朴 貞淑
亀山の幸福度 奥山哲也

第6章……………亀山の防災
南海トラフ巨大地震に備える一過去の震災から何を学ぶか？ 川口 淳
命を守る防災行動と地域観察の視点 水木千春

第7章……………亀山の国際化・情報化
亀山市における多文化共生への展望 水木千春
亀山の産官学民の連携による国際交流 朴 恵淑・谷口智雅
亀山の情報発信 若林哲史
亀山市総合環境研究センター・亀山市民大学キラリ 朴 恵淑・坪田公兒

第8章……………亀山の地域医療
超高齢社会を楽しく生きる 内田淳正
がん検診を有効に受けるためには 竹田 寛
市民が健康でいるために 竹村洋典
シンポジウム「みんなで守ろう！ 三重の医療」
朴 恵淑・伊藤正明・竹村洋典・佐々木孝治・櫻井義之・今井俊積

表紙カバー

